

第 1 回 北山エリア全体調和意見聴取会議 会議資料

令和8年8月20日(木)
9:15～10:45

於:京都学・歴彩館 小ホール

京 都 府 ・ 京 都 市

北山エリア全体調和意見聴取会議は、北山エリア全体調和意見聴取会議設置要領に基づき、京都府が設置します。

この会議体のメンバーについて

- ✓ 「舞台芸術」「音楽」「まちづくり」の各専門家
- ✓ 北山エリアの近隣の
「葵学区」「上賀茂学区」「下鴨学区」「松ヶ崎学区」から代表者
- ✓ 北山エリアに関係する「北山街協同組合」「北大路商店街振興組合」
- ✓ 公募委員

10名の皆さんで進めてまいります。

京都府では、「憩いの緑と躍動するまちが融合した文化創造の森の創出」を基本理念として北山エリア各施設における意見聴取等を実施してきました。

これらの意見聴取会議等の経過を踏まえ、北山エリアの全体調和等について整理を行いたいと考えています。地域、有識者の皆様から以下の点について幅広く意見をお伺いしたいと思います。

北山のまちの将来像実現のための、

エリア内の全体調和のあり方について

旧総合資料館跡地の活用、京都コンサートホールの大規模改修を契機とした

音楽等文化・芸術や学術の香り漂うまちづくりについて

北山エリアの位置づけと立地



京都市域のほぼ中央、京都市街地の北部に所在。西は賀茂川、北は北山通、東は下鴨中通、南は府立大学の南側境界に囲まれている範囲を「北山エリア」、京都府では位置付けています。



北山エリアは、賀茂川などの豊かな自然環境の中、府民利用施設等が集積する貴重な府民の憩いの空間であり、ここで国内外からの人が集い、交流することにより、京都から新しい文化・芸術を創造・発信する拠点となる可能性を秘めています。

※令和2年12月 北山エリア整備基本計画より

北山の整備にかかる経過

● 平成21年4月～10月	北山文化環境ゾーン整備推進についての検討																				
平成28年1月29日、6月2日	北山文化環境ゾーン未来構想委員会																				
● 平成28年8月29日、 平成30年7月12日、7月26日	総合資料館跡地活用等検討委員会																				
● 平成30年10月～平成31年1月	京都府立植物園 100 周年未来構想委員会																				
● 令和元年10月	京都府総合計画「北山『文化と憩い』の交流構想」																				
● 令和2年12月	北山エリア整備基本計画策定 (基本理念：憩いと緑と躍動するまちが融合した文化創造の森の創出)																				
	→ 舞台芸術・視覚芸術の拠点施設整備 府立植物園整備 共同体育館整備																				
● 令和3年4月	京都市：地域まちづくり構想 北山文化・交流拠点地区																				
● 令和4年5月～	府立植物園、府大体育館、旧総合資料館跡地活用における意見聴取者会議																				
	<table><tr><td>施設名</td><td>第1回</td><td>第2回</td><td>第3回</td><td>第4回</td></tr><tr><td>府立植物園</td><td>R4.5.31</td><td>R4.8.8</td><td>R4.11.15</td><td>R5.2.20</td></tr><tr><td>府大体育館</td><td>R4.8.10</td><td>R4.11.16</td><td>R5.4.26</td><td>R5.12.20</td></tr><tr><td>旧総合資料館跡地</td><td>R4.8.9</td><td>R4.11.7</td><td>R5.5.30</td><td>R6.7.8</td></tr></table>	施設名	第1回	第2回	第3回	第4回	府立植物園	R4.5.31	R4.8.8	R4.11.15	R5.2.20	府大体育館	R4.8.10	R4.11.16	R5.4.26	R5.12.20	旧総合資料館跡地	R4.8.9	R4.11.7	R5.5.30	R6.7.8
	施設名	第1回	第2回	第3回	第4回																
	府立植物園	R4.5.31	R4.8.8	R4.11.15	R5.2.20																
	府大体育館	R4.8.10	R4.11.16	R5.4.26	R5.12.20																
旧総合資料館跡地	R4.8.9	R4.11.7	R5.5.30	R6.7.8																	
● 令和4年5月～9月	幼稚園、小中学校、高校との意見交換（20校）																				
● 令和4年6月～8月	周辺自治会学区等説明会（近隣学区、自治会長、役員会等 計13回）																				
● 令和4年7月～8月	保育園、福祉施設との意見交換（16施設）																				
● 令和4年11月、12月	北山エリア整備に係るワークショップ（計6回）																				
● 令和4年12月、令和5年2月、3月	共同体育館整備に係る学生向けワークショップ（計3回）																				
● 令和5年3月	植物園整備に係る説明会（計8回）																				
● 令和6年1月	共同体育館整備に係る説明会（計2回）																				
● 令和6年7月	（令和4年5月～継続実施）府立植物園、府大体育館、旧総合資料館跡地活用における意見聴取者会議																				

機能継承

関連施設

府立文化芸術会館
昭和45年1月 開館

京都子ども文化会館
昭和57年 開館
令和2年11月 閉館

北山エリア内の施設

府立植物園
大正13年1月 開園
令和6年 100周年

旧総合資料館
令和7年3月解体完了
【暫定活用:令和7年10月～令和14年3月】

陶板名画の庭
平成6年3月 オープン

京都府立大学
平成26年 教養教育共同化施設開設

京都コンサートホール
平成7年10月 開館

京都学・歴彩館
平成28年12月 開館

- ・平成21年から議論してきた北山整備の方向性を取りまとめる
- ・北山エリアの課題解決に向けた、手法（施設整備方策）について議論する叩き台として作成

北山エリアの将来像

豊かな自然に包まれた環境

オープンに繋がる空間

多様な人々が集まり交流するまち

新たな文化・芸術の創造・発信の拠点

文化・芸術・学術・スポーツに触れられる魅力的な空間

実現のための方策案



エリアの基本理念（コンセプト）

憩いの緑と躍動するまちが融合した文化創造の森の創出

整備方策の叩き台

- ・植物園の緑がエリア内に広がり、各施設が木々の緑の中に佇む空間の創出
- ・施設の枠を越えて人が自由に往来できる空間づくり
- ・日常的に人が集い交流できるまちの形成
- ・新たに整備する建築物の外観に配慮し、調和の取れた景観形成

論点が多岐にわたることから
北山エリア整備基本計画を叩き台に、
まず、各施設で検討を深めることとしました！

	専門家・府民意見聴取 論点が多岐に渡るため、施設ごとに意見聴取	意見から府がとりまとめたもの
旧総合資料館跡地 (舞臺芸術・視覚芸術拠点拠点)	・エリアの玄関口として創作・鑑賞・交流が循環し、回遊の起点となる場に。 ・機能継承を前提に、柔軟で多様な活動形態に対応可能で、創作と発表が連続的に行える施設に。 ・施設の持続性を見据え、民間などとの多様な連携を取り組むべき。	・北山エリアの顔となる文化芸術「交流・創造・発信」拠点 ・機能継承を前提に舞台芸術・視覚芸術を核とした効果的な施設機能 ・持続可能な運営を前提とした整備 ・旧総合資料館跡地を起点に、植物園、京都コンサートホール等を結ぶ「関係人口」の創出が重要
府立植物園	・京都から世界の生物多様性保全に資する役割を明確に。 ・誰もが楽しく学べる「学びの入口」として学習機能を強化すべき。 ・憩いの場と学習・研究の場とのバランスのとれた機能を。 ・生きた植物、標本、記録の整備が必要。	・京都から世界の生物多様性保全に貢献する植物園の実現 ・府民の憩いの場の機能に加えて、博物館機能を拡大 ・次代を担う子供たちや若い世代向けの魅力を拡大 ・多面的な魅力を備え、多様な利用者ニーズに応えられる植物園を目指すべき
府立大学体育館 (共同体育館)	・日常的に使いやすい教育研究の場であることが最適ではないか。 ・学生利用前提とし、スポーツや防災等地域に開かれた場に。 ・地域の健康増進やイベント開催など地域への貢献が必要。 ・教育やスポーツの価値を高めるための大学体育館が必要。	・学生利用を前提とした教育研究の場としての体育館 ・学生の多様な活動を支える体育館機能と防災機能の充実 ・府民に開かれた大学体育館 ・体育館単体ではなく、大学キャンパス全体との連携で考えるべき

令和2年12月に策定された北山エリア整備基本計画をベースに、各施設の整備のあり方について有識者意見聴取会議を開催したり、地域のみなさまとのワークショップ等も実施



施設間連携が必要

・北山エリア内の施設とは？

旧総合資料館跡地の活用、府立植物園、府立大学に加え、京都学・歴彩館、陶板名画の庭、京都コンサートホールを含む。



西脇知事

松井市長

北山の文化芸術の発信の拠点（北山エリア整備基本計画）に、旧総合資料館跡地・京都コンサートホールを中心とした音楽であふれるまちづくりという視点が加わる！



エリア内の施設間の調和



エリアと「まち」との調和

令和7年12月の府市トップミーティングにて、北山エリアのまちづくりについて幅広い意見を伺うための会議体を設置を合意！

全体調和（相互連携・相互補完）

意見聴取会議から「共通する言葉」をまとめると、

1 「つながり・学び・育てる」

つながり： 施設利用者間の交流、何気なく訪れた方同士が出会う「^{かいこう}邂逅」がある

学 び： 施設利用者、訪れた方が、なにかしら価値や知識、愉しみを「^{きょうじゅ}享受」する

育てる： 人材、文化、自然、そして地域への「^{あいちゃく}愛着」を育む

2 「長期的視点で」

府民参加・地域連携・環境配慮・持続可能性 で施設を運営していく必要性

旧総合資料館跡地（舞台芸術・視覚芸術拠点施設）、府立植物園、共同体育館（府立大学体育館）、京都コンサートホールが有機的に連携し、一つの文化・交流拠点として機能する。付帯施設もこれらの連携を強化するための補強材として活用し、北山らしいわくわくしたエリア「文化創造の森」となる。



再掲

北山のまちの将来像実現のための、

✔ エリア内の全体調和のあり方について

旧総合資料館跡地の活用、京都コンサートホールの大規模改修を契機とした、

✔ 音楽等文化・芸術や学術の香り漂うまちづくりについて

北山のまちの将来像実現のための、

エリア内の全体調和のあり方について



会議スケジュールと議題案

回	開催日程	議題（案）
初回	令和8年8月20日 9:15～10:45	・ これまでの北山整備にかかる経過 ・ 意見聴取会議のとりまとめと全体調和について【ディスカッション】 ・ 北山まちの将来像実現に向けた全体調和のあり方
～	令和8年秋頃	【ディスカッション】 ・ 旧総合資料館跡地の音楽等文化芸術・学術の香り漂うまちづくりや音楽であふれるまちづくり
最終回	令和9年春頃	・ これまでの議論を踏まえた総括【ディスカッション】 ・ 北山エリアに求められるもの 等

本日ココ

- ・ 北山エリア全体調和意見聴取会議設置要領
北山エリア全体調和意見聴取会議 委員名簿
- ・ 第1回北山エリア全体調和意見聴取会議 資料（本資料）

【資料編】

- ・ 北山エリア整備にかかるこれまでの経緯（各会議体による議論について）
- ・ 旧総合資料館跡地等の活用に係る意見聴取会議等における主な意見
第4回 旧総合資料館跡地等に活用に係る意見聴取会議資料（抜粋）
- ・ 植物園整備検討に係る有識者懇話会等における主な意見
第4回 植物園整備検討に係る有識者懇話会資料（抜粋）
- ・ 共同体育館整備に係る意見聴取会議等における主な意見
学生ワークショップでの意見に基づく配置イメージ
- ・ 京都コンサートホール魅力向上方針